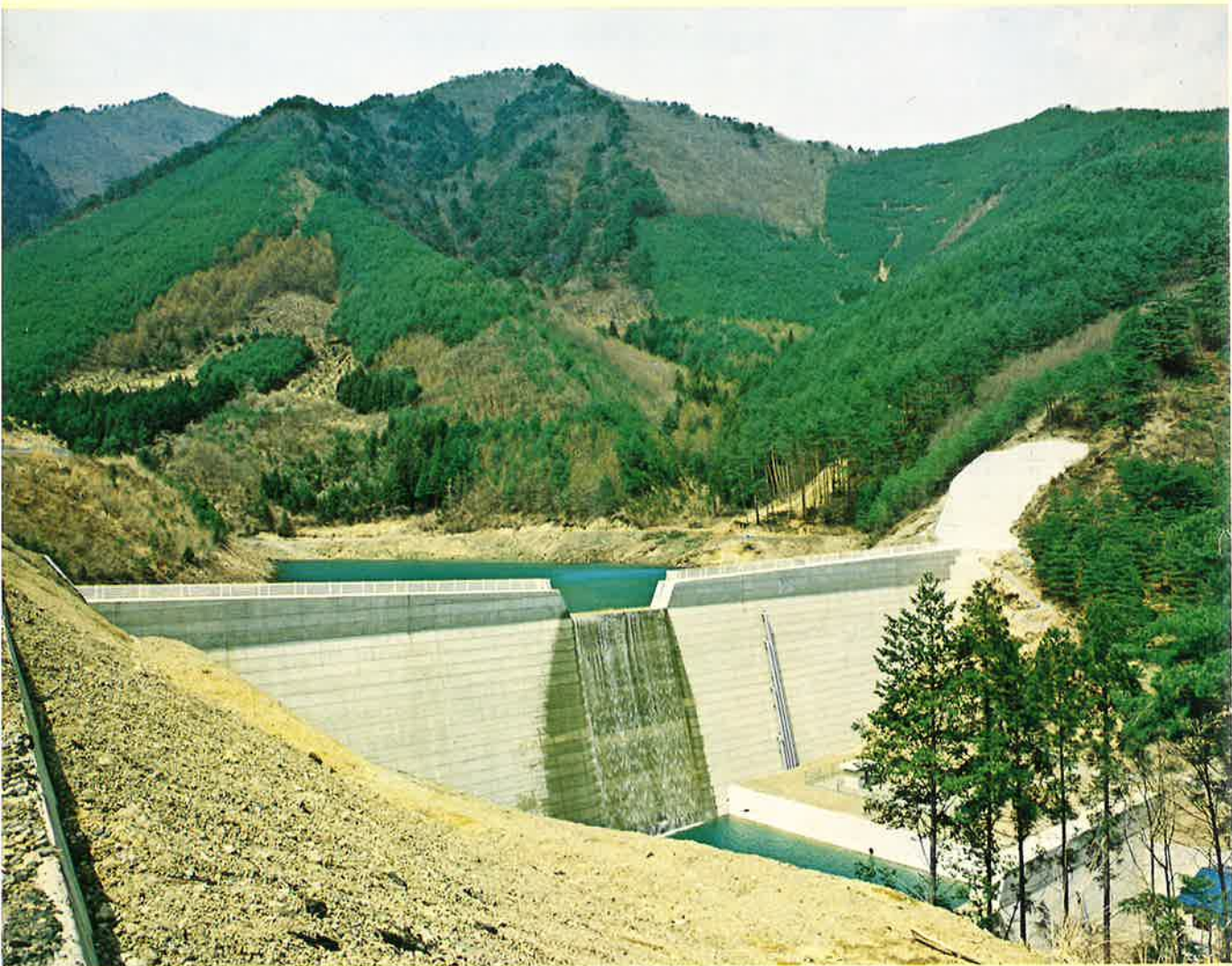


# 滝川砂防ダム



1978.1



長野県土木部  
上田建設事務所



小県郡青木村

# 滝川砂防ダム建設の概要

滝川は長野県小県郡青木村滝山（標高 1,624 m）にその源を発し、沓掛川、浦野川を経て千曲川にそぐ中小河川である。

上流域一帯の山間地は中間層よりなる軟弱な地質に加えて山腹は急傾斜地が連なり、河成りは蛇行が甚しく数多くの崩壊地があって降雨の都度その範囲を拡大して多量の土砂を流出しており、下流域の被害はその後を絶たないが中でも昭和34年、36年における豪雨による大災害は多くの尊い人命と財産を奪っている。

滝川ダムは、これら災害防止の抜本策として滝川の中流滝山地籍に建設する大型砂防ダムで、多量の土砂流出を防止することにより下流域の人命財産を守り、民生安定をはかるものであります。また、下流一帯への水源として不足水を補う外ダム附近一帯は自然林としての資源に恵れダム湖と相まって山紫水明の地となり、下流域の田沢、沓掛温泉郷とむすび観光行楽の境地としてその発展が期待される。

滝川ダム建設工事は、総事業費7.7億円の巨費を投入して、昭和47年に調査に着手、48年～49年に用地取得、49年～50年度資材運搬・補償道路を完成させ、49年に本工事の仮排水路に着手、50年～52年度で本堰堤、副堰堤、水叩等完成、53年1月に竣工したのである。





# ダム諸元

1. 河川名 信濃川水系浦野川支沓掛川小支滝川

2. ダムの位置 長野県小県郡青木村字滝山

## 3. ダム計画の諸元

流域面積	4.4 Km <sup>2</sup>	現況河床勾配	1/8.4
最大時雨量	50mm	計画河床勾配	1/15.9
流出係数	0.8	計画堆砂量	377.340m <sup>3</sup>
土砂混入率	20%	有効貯水量	101,000m <sup>3</sup>
比流量	10.6	湛水池面積	16,900m <sup>2</sup>

## 4. ダムの概要

(1) 型式 コンクリート重力式(前法2.5分 裏法6.5分)

(2) 地質 砂岩及び粘板岩

(3) 主要寸法

工種 各部	本ダム	副ダム	側壁及水叩		摘要
			側壁	水叩	
堤長	125.8m	75.0m	29.27m	25.34m	
堤高	25.0m	11.0m	9.50m	1.50m	
天巾	2.5m	2.5m	0.5m	16.00m	
底巾	25.0m	8.55m	3.35m	15.10m	
堤体積	29,297.4m <sup>3</sup>	3,021.1m <sup>3</sup>	1,012.5m <sup>3</sup>	580.8m <sup>3</sup>	ΣV33,911.8m <sup>3</sup>

(4) 資材運搬路 L=547.4m W=3.6m

付替道路 L=454.7m W=3.6m

計 1002.1m

5. 事業費 7.7億円

## 6. 経済効果

耕地安定	かんがい面積	人家	道路	橋梁
300ha	450ha	183戸	4,800m	2橋

工事施行者 長野県土木部(上田建設事務所)

工事請負業者 竹中土木、東信土建共同企業体

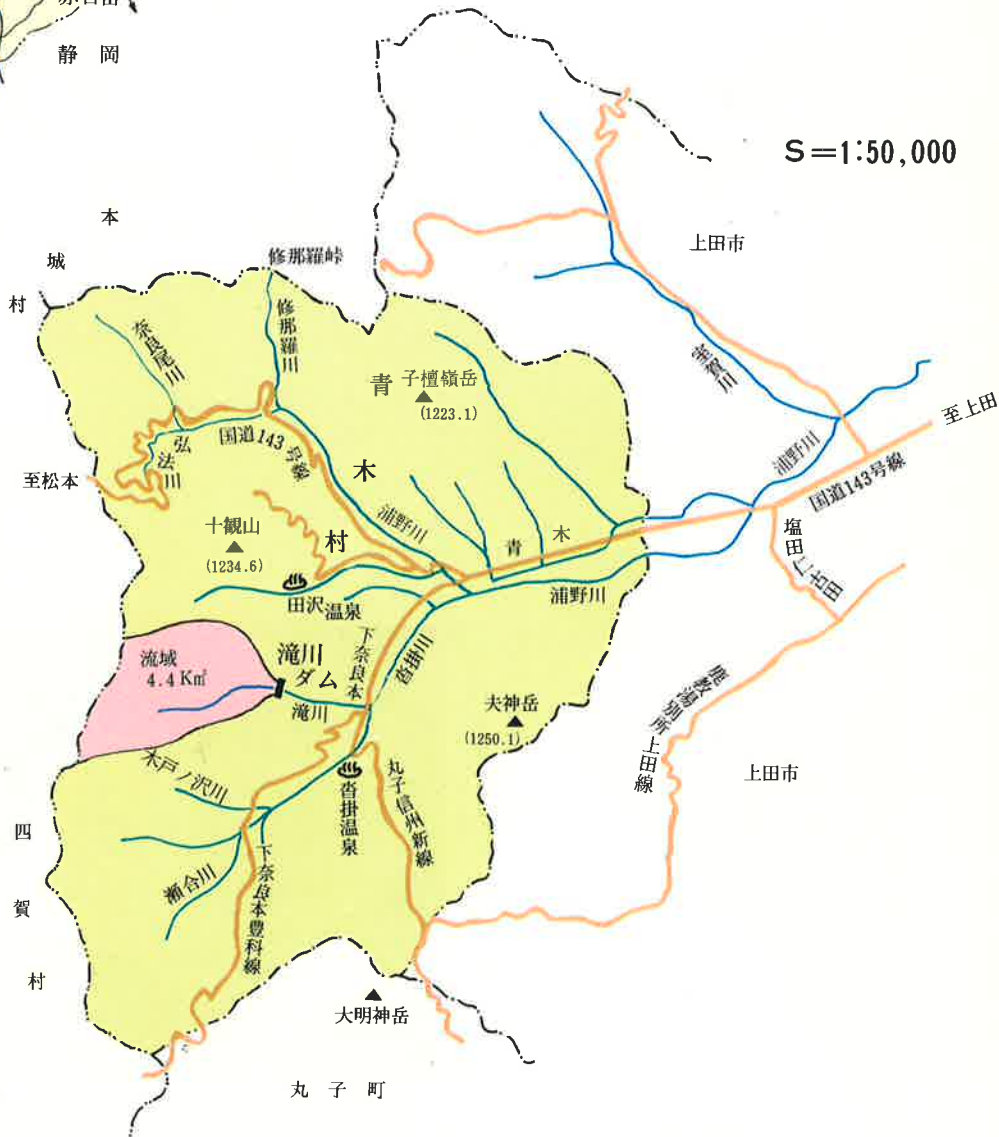


# 位置図

S=1:2,000,000



S=1:50,000







## 田沢温泉 (環境庁指定国民保養温泉)

十観山と滝山の山裾にはさまれ、東に遠人浅間山をはじめ、上信越高原国立公園の峰山を望む静かな山ので湯で、庶民的な保養地として古くから多くの人達に親しまれてきた宿の門構えや白壁の土蔵、小川に沿った石畳など落ちついた昔の面影を残している。泉質は単純硫黄泉で、神経痛、ひふ病、リュウマチなどに卓効があり、特に婦人病、不妊症によく効き、子宝の湯、子持ち湯、有乳湯などの呼び名がある。

## 沓掛温泉 (環境庁指定国民保養温泉)

夫神岳の山腹に広がる田園風景を望む静かな保養地で、春は温泉に通じる山道の桜並木の花が咲き乱れ、山里の素朴な景色が独特の美しさをえがき出している。ここは、都会の騒音など全く寄せつけない静けさと新鮮な空気がただよっている。泉質は硫化水素泉で、高血圧、神経痛、リュウマチ、外科的疾患、胃腸病によく効く名湯です。



## 国宝 大法寺三重塔

この三重の塔は鎌倉末期の建立で、初重が特に大きく、きわめて珍しい。これがこの塔の特色であり、安定した構造が周囲の風光と調和に美しく、「見かえりの塔」と言う名で親しまれている。その姿があまりにも美しいので思わずふりかえるからだと言う。又、この寺には、重要文化財の大法寺厨子および須弥壇、木造十一面観音立像、木造普賢薩立像など多くの文化財がある。

## 修那羅の石仏

田沢、沓掛温泉から車で20分ほどで修那羅峠に着く。そこから歩いて15分、安宮神社がある。江戸末期から明治初期にかけて、土地の人々によって奉納された700体余りの様々な形をした石仏が訪れる者に強い印象を与える。





# 滝川砂防ダム一般平面図

S=1:2,000

